

第2次さぬき市総合計画前期基本計画
基本施策別目標指標進捗状況調査結果一覧

(調査実施年度：平成28年度)



香川県さぬき市

目次

(1) 企業誘致の推進	1
(2) 商工業の振興と産学官の連携強化	2
(3) 農林業の振興	3
(4) 水産業の振興	6
(5) 観光の振興	7
(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実	8
(7) 定住促進対策	10
(8) 消防・防災体制の充実	11
(9) 生活安全対策の推進	12
(10) 道路等の社会基盤の整備	13
(11) 公共交通網の充実	14
(12) 住環境の整備と都市計画の推進	15
(13) 墓地・斎場の整備	18
(14) 子育て支援の充実	19
(15) 高齢者福祉の充実	20
(16) 障害者福祉の充実	21
(17) 地域力の強化による地域福祉の充実	22
(18) 心身の健康づくりに対する支援	23
(19) 地域医療の充実	25
(20) 生活困窮者への支援	27
(21) 社会保障制度の適切な運用	28
(22) 学校教育の充実	29
(23) 家庭と地域の教育力の強化	31
(24) 生涯学習・スポーツの推進	33
(25) 歴史・文化の伝承	34
(26) 青少年の健全育成	35
(27) 交流事業の推進	37
(28) 男女共同参画の推進	38
(29) 人権教育の推進	39
(30) 自然環境との共生	41
(31) 資源循環型社会の構築	42
(32) 上下水道の維持・整備	44
(33) 財政の健全化	45
(34) 歳入の確保	47

(35) 行政改革の推進	49
(36) 公共施設マネジメントの推進	50
(37) 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進	51
(38) 地域コミュニティの活性化	52
(39) 広域的行政の推進	53

基本施策別目標指標一覧

(1) 企業誘致の推進

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
企業立地件数	件	さぬき市企業立地促進条例に基づく助成金対象企業数(増設を含む)並びに市及び土地開発公社有地への立地件数とし、これまでの実績を基に算出。 (H25年度以降の累計件数を記載)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			9	10	12	14
実績値	3	8	13			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
雇用の場の創出、地域経済の活性化に資するため、支援制度等を活用した企業誘致に積極的に取り組み、目標値を上回るよう努める。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市内事業所数 (製造業)	事業所	毎年実施する統計調査である工業統計調査を基に、これまでの調査結果から推計する(従業員数4人以上の事業所に限る)。 H14年調査以降、36件の減少(廃業・休業)があり、年平均で3.27件が減少している。企業立地(新設)件数を増やすとともに、廃業等を抑止することで、減少カーブが緩やかになると見積もる。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			140	140	138	138
実績値	142	132	132			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
企業誘致と併せて、市内中小企業に対する支援を拡充することで、事業所数の減少を抑制する必要がある、目標値を上回ればよいものとする。						

(2) 商工業の振興と産学官の連携強化

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市内製造業出荷額		万円	企業活動の状況を示すデータとして工業統計における出荷額を指標とする。 H30 まで毎年 2%の伸び率を見込む。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			16,095,589	16,417,501	16,745,851	16,986,936
実績値	15,470,577	15,967,527	15,967,527			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
主要産業である製造業の出荷額が、過去 10 年間で最も高かった年の水準(H20 年 16,986,936 万円)を超えることで、リーマンショックから完全復活し、さらなる成長を成し遂げたことになると考えられるため、H30 年度の実績が、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
さぬき市小規模事業者経営改善資金利子補給の新規取扱件数		件	商業活動の積極的な事業展開の状況を反映した事業である「さぬき市小規模事業者経営改善資金利子補給」の新規取扱件数を指標とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			4	4	5	5
実績値	—	3	6			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
本利子補給事業は、小規模な小売事業者や製造事業者の経営基盤の強化や新分野進出などを支援するための設備資金や運転資金を対象としており、このうち商業関係事業者に係るものについては、全体の取扱件数の半数を目標とする。H30 年度における実績値が、目標値を上回ればよい。						

(3) 農林業の振興

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
圃場整備面積		ha	農業生産性の向上を図る基盤となる整備面積			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			1,248	1,250	1,254	1,260
実績値	1,223	1,242	1,247			
担当課	土地改良課					
指標の達成度の説明						
圃場整備を実施することにより、大型機械の導入が可能となり、農業生産性の増大、コスト削減が見込まれることから、実施面積が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
多面的機能支払制度協 定面積		ha	農地や農業用施設の保全管理活動の実施面積			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			650	680	720	750
実績値	400	572	635			
担当課	土地改良課					
指標の達成度の説明						
農業者等で構成された活動組織が、農地を維持していくために、共同で農地や農業用施設(ため池、水路、農道等)の草刈りや泥上げ、また、ポンプや水路等の維持管理を行うことにより、耕作放棄地の発生を防いでいることから、実施面積が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
認定農業者数		経営体	さぬき市農業の担い手となる認定農家の経営体数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			92	94	96	98
実績値	87	90	100			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
担い手となる農業者の確保・育成を達成するためには、認定農家の経営体数が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
担い手の耕作農地面積		ha	担い手となる認定農業者が耕作する農地の面積			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			450	500	550	600
実績値	313	417	452			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
担い手への農地集積が進むことで、耕作農地の保全並びに耕作放棄地の発生を防いでいるため、担い手の耕作農地面積が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
有害鳥獣捕獲頭数		頭	猟友会員による有害鳥獣捕獲許可証に基づくイノシシ・サルの捕獲個体で、職員による現地確認及び部位(耳・尾)の確認を行った頭数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			500	400	400	350
実績値	254	472	677			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
毎年度、猟友会員により有害駆除及び狩猟期間中においても捕獲を行っており、生息数の把握は困難であるが、捕獲頭数が減少すれば成果があったと見込めるので、H30年度には、実績値が目標値を下回ることが望ましい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市内の農産物直売所に出品している農業者数		人	地産地消を促進するため、市内の農産物直売所に農産物を出品している農業者の総数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			200	205	210	215
実績値	198	198	216			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
地産地消を促進するためには市内の農産物直売所に出品している農業者数が増加するほうが好ましいため、実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
林業実施計画済面積(経営計画等面積)		ha	施業計画、特定間伐促進計画及び森林経営計画の合計計画対象面積				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			1,484	1,517	1,517	1,552	
実績値	776	1,484	1,484				
担当課	農林水産課						
指標の達成度の説明							
森林保全と林業の促進のためには経営計画等面積が増える方が望ましいので、実績値が目標値を上回ればよい。							

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
森林ふれあい体験回数		回	教育の森や百年の森等で行う体験学習回数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			2	2	3	3	
実績値	2	2	1				
担当課	農林水産課						
指標の達成度の説明							
林への理解を含め、森林整備への気運を醸成するためには、体験学習機会等を増やし、実績値が目標値を上回ればよい。							

(4) 水産業の振興

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
水産物の属人漁獲量	トン	市内 11 漁港地区内に居住する漁業者の漁獲量(漁港の港勢調査の資料を利用)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			2,800	2,800	2,800	2,800
実績値	3,284	2,810	2,745			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
水産物の安定供給のためには、実績値が現状の値を維持もしくは上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
漁業協同組合組合員数	人	市内漁業協同組合の正組合員と准組合員の総数(各漁協業務報告書を利用)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			440	440	440	440
実績値	441	442	421			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
担い手の育成・確保のためには、実績値が現状の値を維持もしくは上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
登録漁船数	隻	漁港地区内に居住する漁業者が登録している漁船数(漁港の港勢調査の資料を利用)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			440	440	440	440
実績値	519	448	420			
担当課	農林水産課					
指標の達成度の説明						
漁業経営の発展のためには、実績値が現状の値を維持もしくは上回ればよい。						

(5) 観光の振興

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
観光地入込客数	万人	香川県実施の観光動態調査による。H30年度目標値は、観光PR活動の効果を期待して、H26年度実績見込値より10万人増加とする。 ※津田の松原サービスエリア(上り・下り)は除く。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			250	260	260	260
実績値	230	253	242			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
魅力ある観光振興対策の推進の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
テレビ、ラジオ、雑誌等への出演、掲載回数	回	当課における出演、掲載記録を数える。H30年度目標値は、各種メディアからの注目を期待して、90回程度とする。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			80	90	90	90
実績値	86	80	88			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
国内外に向けた観光PRの強化のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
ぶち旅プラン掲載コース数	回	高松観光コンベンションビューローが作成する「ぶち旅プラン」パンフレット掲載数安定して、毎年2回掲載してもらえるようコース提案に努める。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			2	2	2	2
実績値	2	1	0			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
広域観光連携の推進のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(6) 雇用の場の確保と労働環境の充実

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
有効求人倍率		倍	ハローワークさぬきにおける、4月から3月までの平均有効求人倍率 (有効求人倍率=募集求人数/ハローワークさぬきに登録している求職者数)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			1.08	1.08	1.09	1.10
実績値	1.00	1.11	1.28			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
地域就職サポートセンターによる就職マッチング件数		件	事業の目的を反映した数値として地域就職サポートセンターによる求人者と求職者のマッチング件数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			25	30	35	40
実績値	—	31	84			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
より多く就職あっせんを行うことにより、若年層の定住促進や市内企業の人材確保に貢献できる。H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた市内企業への啓発数		社	国や県などの関係機関と連携して実施した啓発先の数を指標とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			15	15	20	20
実績値	—	7	7			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
より多くの企業に対して啓発活動を行うことによって、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。計画最終年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
雇用の場の確保と労働環境の充実に対する市民満足度		評価点	第2次さぬき市総合計画前期基本計画中の成果を計るため、中期基本計画策定に係る市民アンケートでの市民満足度を指標とする。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			—	—	0.00	—
実績値	-2.23	—	—			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(7) 定住促進対策

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
社会動態の人口増減数		人	香川県人口動態調査を基づく。転入者数(社会増)―転出者数(社会減)で算出する。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			-120	-80	-40	0
実績値	-217	-160	-143			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
プラスに転じることが望ましいので、H30年度には目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
定住促進対策に対する 市民満足度		評価点	第2次さぬき市総合計画前期基本計画中の成果を計るため、中期基本計画策定に係る 市民アンケートでの市民満足度を指標とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			—	—	0.00	—
実績値	-1.46	—	—	—		—
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(8) 消防・防災体制の充実

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
自主防災組織のカバー率		%	自主防災組織結成行政区内世帯数/住民基本台帳世帯数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			85.00	87.00	89.00	90.00
実績値	79.67	81.20	82.38			
担当課	危機管理室					
指標の達成度の説明						
地域の防災力の向上を目指すため、その基礎組織となる自主防災組織の組織化を促進し、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
指定避難所収容可能人数		人	指定避難所として指定した避難所の収容可能人数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			5,000	6,000	7,000	8,000
実績値	—	3,000	6,090			
担当課	危機管理室					
指標の達成度の説明						
大規模災害に備え、香川県が公表した地震津波被害想定調査の避難者数を目標としていることから目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
災害対策本部図上訓練等回数		回	職員を対象とした災害対策本部の図上訓練や研修会の回数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			2	2	2	2
実績値	—	0	0			
担当課	危機管理室					
指標の達成度の説明						
図上訓練などにより職員の意識高揚を図るため、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
消防団員数		人	消防団員数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			595	600	610	620
実績値	588	589	583			
担当課	危機管理室					
指標の達成度の説明						
地域の消防力を維持するため、目標値に達すればよい。						

(9) 生活安全対策の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
刑法犯認知件数(暦年)		件	市内における傷害や窃盗等、刑法犯の認知件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる)。各種啓発活動や環境整備により、犯罪件数が減少すると考える。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			390	380	370	360
実績値	409	345	380			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
刑法犯認知件数が減少すれば、今以上に市民が安全、安心に暮らすことができると考えられることから、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
人身事故発生件数(暦年)		件	市内における交通人身事故発生件数(警察の統計に基づく数値であるため暦年となる)。各種啓発活動や環境整備により、交通事故件数が減少すると考える。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			380	370	360	350
実績値	390	347	380			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
人身事故発生件数が減少すれば、今以上に市民が安全、安心に暮らすことができると考えられることから、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
消費者相談件数		件	窓口、電話、メール等で市内から寄せられた相談の件数を指標とする。被害の未然防止と発生後に適切な対応を行うため、消費生活センター等関係機関と連携し、気軽に相談できる体制をつくることにより、件数は増加すると考える。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			15	20	25	30
実績値	13	13	10			
担当課	商工観光課					
指標の達成度の説明						
消費者行政の推進のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(10) 道路等の社会基盤の整備

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市道における改良率		%	市道実延長に対する道路改良済延長の割合 (H25年度 486,456m/694,149m、H30年度 489,456m/694,149m) 現年予算を確保したうえでの今後の改良予定延長によるもの。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			70.25	70.34	70.43	70.51
実績値	70.08	70.30	70.83			
担当課	建設課					
指標の達成度の説明						
市道整備の達成度は、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
道路における歩道設置率		%	市道実延長に対する歩道設置済延長の割合 (H25年度 27,635m/694,149m、H30年度 27,912m/694,149m) 改良事業に併せた歩道設置予定延長によるもの。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			4.00	4.02	4.02	4.02
実績値	3.98	3.97	4.02			
担当課	建設課					
指標の達成度の説明						
歩道整備の達成度は、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
修繕が必要な橋梁数		橋	橋梁点検において、損傷ランクがc(損傷度:軽度、損傷がある)、d(損傷度:顕著、損傷が大きい)、e(損傷度:深刻、損傷が非常に大きい)と判定した橋梁(121橋)のうち、橋梁補修工事が完了した橋梁を前年度実績から差し引いて算出する。(参考:市内全橋梁数515橋)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			115	113	108	101
実績値	121	118	117			
担当課	建設課					
指標の達成度の説明						
道路交通の安全性を確保するためには、H25年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防的で計画的な修繕によって橋梁の延命化を行う必要があるため、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

(11) 公共交通網の充実

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
年間運行委託料経費の削減率	%	公共交通機関としての役割を今後も果たしていくため、利便性・効率性と経済性のバランスを有し、持続可能な事業であることが重要であることから、経済面でのコストを測定する。 誰もが利用し得る利便性の高い公共交通手段の提供施策に関して、H22年度の年間運行経費(69,300千円)を起点として、それ以降の年度の年間運行経費額を比較した数値を指標とする。[算出式 H25: (69,300-61,900)/69,300、H30: (69,300-62,400)/69,300 単位:千円]				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			10.0	10.0	10.0	10.0
実績値	10.7	9.8	10.2			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
利便性・効率性と経済性のバランスの確保とコミュニティバス事業の基本目標【「便利で使いやすく」、「持続可能な」交通体系の創造】の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
コミュニティバス収支比率の改善率	%	公共交通機関としての役割を今後も果たしていくためには、利便性・効率性・経済性のバランスを有し、持続可能な事業であることが重要であることから、収支比率を測定する。 誰もが利用し得る利便性の高い公共交通手段の提供施策に関して、年間収入(運賃収入、回数券販売額、車両広告、運行協力金)を年間支出額で割り、求められた数値を収支比率とし、指標とする。[算出式 H25: 13,708/62,301、H30: 18,720/62,400 単位:千円]				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			30.0	30.0	30.0	30.0
実績値	22.0	22.4	22.1			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
利便性・効率性・経済性のバランスの確保とコミュニティバス事業の基本目標【「便利で使いやすく」、「持続可能な」交通体系の創造】の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
コミュニティバスの年間利用者数	人	公共交通機関としての役割を今後も果たしていくため、利用者数の維持・拡大が不可欠であること、啓発等の取組結果もこの利用者数の推移に表れると予測されるため、年間のバス利用者数を指標とする。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			100,000	100,000	100,000	100,000
実績値	91,110	92,900	93,541			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
利便性・効率性と経済性のバランスの確保とコミュニティバス事業の基本目標【「便利で使いやすく」、「持続可能な」交通体系の創造】の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(12) 住環境の整備と都市計画の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
住宅リフォーム補助件数		件	さぬき市住宅リフォーム促進支援事業実施要綱に基づく支援を受けてリフォームを実施した住宅の数(空き家リフォーム補助件数の指標に係る補助件数は除く)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			130	130	130	—
実績値	163	152	152			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
住宅をリフォームすることによって定住促進に資すること、市内産業の活性化と雇用の創出が図られることを目的とするためには、実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
空き家リフォーム補助件数		件	さぬき市空き家バンクに掲載されている住宅で、さぬき市住宅リフォーム促進支援事業実施要綱に基づきリフォーム支援を受けた住宅の数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			10	10	10	—
実績値	0	0	2			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
空き家の活用を促進するため、実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
民間住宅耐震対策(耐震診断)支援補助金補助件数		件	民間住宅の耐震診断に係る支援補助件数 各年度の目標値については、予算計上件数とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			50	50	50	50
実績値	28	16	9			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
民間住宅の耐震化を促進するためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
民間住宅耐震対策(耐震改修)支援補助金補助件数	件	民間住宅の耐震改修に係る支援補助件数 各年度の目標値については、予算計上件数とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			8	8	8	8
実績値	5	4	4			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
民間住宅の耐震化を促進するためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市営住宅除却数	戸	市営住宅の除却した戸数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			9	5	5	5
実績値	6	4	5			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
住環境及び周辺環境整備のため、老朽化が進み安全性に問題がある市営住宅を目標値のとおり計画的に除却する。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市民1人当たりの都市公園整備面積	m ²	さぬき市都市公園条例第1条の3により、市民1人当たりの都市公園敷地面積の標準が20m ² 以上とされていることから、さぬき市都市公園の設置面積を測定する。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			21.7	21.7	21.7	21.7
実績値	21.7	21.7	21.7			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
さぬき市都市公園の市民1人当たりの敷地面積の標準が20m ² 以上とされている。現在ではほぼ達成しているが、将来の人口推移等を考慮しながら、公園整備を計画し実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
ポケットパーク設置箇所数		箇所	宅地開発に伴い設置され、市に寄付された公園数 ※H25年度以降の累計数とする。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			1	2	3	4
実績値	0	0	0			
担当課	都市計画課					
指標の達成度の説明						
安全かつ気軽に遊べるポケットパークが増えると、市民の健康づくりに役立ち、空き地対策にもつながるので、実績値が目標値を上回ればよい。						

(13) 墓地・斎場の整備

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
斎場施設利用に関する苦情件数		件	○測定方法・・・施設利用中に生じた困難事案(快適に利用できなかった内容等)に係る意見数 ○設定根拠・・・市民の施設利用満足度の測定につながるため			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			0	0	0	0
実績値	0	1	1			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
施設を利用する市民が快適に利用できるよう努力すれば利用者からの改善に向けた意見がなくなるため、意見なしになればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市営墓地管理不全区画割合		%	○測定方法・・・毎年7月下旬に市営墓地の全区画を調査し、管理不全区画の区画数を把握し、全区画数に対する管理不全区画の割合を算出する。(H25年度:23区画/2,454区画、H30年度:35区画/2,454区画) ○設定根拠・・・文書送付による啓発により管理不全区画がH30年度にゼロとなることが望ましいが、その達成には契約者個人のモラルが大きく関わるため、H30年度までの目標としてはH26年度の実績値からの半減を目指す。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			2.4	2.1	1.8	1.4
実績値	0.9	2.8	1.9			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
管理不全区画数の減少を達成するためには、H30年度の実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市営墓地利用率		%	○測定方法・・・市営墓地の総区画数に対する契約率の把握 (H25年度:2,214区画/2,454区画、H30年度:2,290区画/2,454区画) ○設定根拠・・・空き区画の利用促進を行うことにより、利用率の向上を図る。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			91.5	92.1	92.7	93.3
実績値	90.2	90.9	90.1			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
墓地に対する市民のニーズを満たすためには、実績値が目標値を上回ればよい。						

(14) 子育て支援の充実

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
病児・病後児保育年間受入延べ人数	人	きめ細やかな保育の実践につながるため、病児・病後児保育の年間受入延べ人数を指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			520	540	560	580
実績値	476	441	514			
担当課	子育て支援課					
指標の達成度の説明						
<p>市民病院の限られた専用スペース(定員4人)で保育を行っていることから、年間受入延べ人数は大きくは伸びないと予想されるが、稼働率を上げるため事業の周知を徹底していく必要がある。</p> <p>年間受入延べ人数は事業効果の目安であると考えているが、その年の感染症などの流行の状況等により利用が大きく左右されることから、目標達成は流動的であり、これだけをもって事業効果の判断はできないと考える。</p>						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
ファミリー・サポート・センターのお願い会員、まかせて会員、どっちも会員の登録者数	人	子育て支援活動の基本であるファミリー・サポート・センターの会員数を指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			お願い会員:183 まかせて会員: 141 どっちも会員:6	お願い会員:190 まかせて会員: 144 どっちも会員:6	お願い会員:197 まかせて会員: 147 どっちも会員:6	お願い会員:204 まかせて会員: 150 どっちも会員:6
実績値	お願い会員:174 まかせて会員: 131 どっちも会員:6	お願い会員:183 まかせて会員: 140 どっちも会員:6	お願い会員:199 まかせて会員: 142 どっちも会員:7			
担当課	子育て支援課					
指標の達成度の説明						
<p>お願い会員数は広報紙の掲載やチラシの配布などの周知により着実に増えているが、まかせて会員数は会員養成講座を年2回開催しても微増となっている。</p> <p>会員登録者数は事業効果の目安であり、その目標達成は可能と考えるが、現実には「まかせて会員」の登録だけを行い実際に活動していない会員が相当数いることから、その実働率を上げることが利用者のニーズに応えるものとなる。</p>						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
保育所待機児童数	人	保護者の就労支援等として、保育所の待機児童数を指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			0	0	0	0
実績値	0	0	0			
担当課	子育て支援課					
指標の達成度の説明						
市内の公立保育所及び私立保育園が連携し、H30年度の実績値が目標値と同じであればよい。						

(15) 高齢者福祉の充実

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
要介護認定率	%	要介護認定者数/高齢者(65歳以上)人口 ※第6期介護保険事業計画の推計値 H25年度 3,298人/16,133人 H30年度 3,677人/17,211人				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			20.7	20.9	21.1	21.3
実績値	20.4	20.8	20.8			
担当課	介護保険課					
指標の達成度の説明						
健康な高齢者が増えると要介護認定者が少なくなるので、H30年度の目標値を下回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
老人クラブ会員数	人	高齢者の孤立化が課題になっており、孤立化を防ぐ効果的な取組の一つに老人クラブの友愛活動があることから、老人クラブ会員数を指標とする。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			6,300	6,300	6,300	6,300
実績値	6,512	6,279	6,077			
担当課	長寿障害福祉課					
指標の達成度の説明						
生きがいづくりの取組が活発になると、活動拠点の一つである老人クラブの会員が増えるため、H30年度の目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
地域包括支援センター総合相談実数	件	住み慣れた地域で可能な限り生活できるようにするためには高齢期特有の課題を社会が支援することが重要であり、支援につながる窓口となっている地域包括支援センターの相談実数を指標とする。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			1,500	1,550	1,600	1,650
実績値	1,433	1,755	1,697			
担当課	介護保険課					
指標の達成度の説明						
市民・地域包括支援センター・関係機関の連携が深まると相談実数が増えるため、H30年度の目標値を上回ればよい。						

(16) 障害者福祉の充実

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
障害者福祉サービスの延べ年間利用者数	人	人数は、月の実利用人数の12ヶ月実績とする。 利用実績を把握することで、障害者の地域生活を支援する障害福祉サービスの浸透度合を確認し、より一層の啓発につなげる。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			8,100	8,300	8,500	8,700
実績値	7,347	8,118	8,333			
担当課	長寿障害福祉課					
指標の達成度の説明						
障害者等に対する相談体制の充実、障害児への支援、障害者の生活支援対策の充実、社会参加の促進と就労支援、地域ぐるみの障害者福祉の充実の達成のためには、障害者福祉サービスの浸透度合いを確認するため、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(17) 地域力の強化による地域福祉の充実

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
ボランティア団体数	団体	福祉サービスの質の向上と供給体制の強化を目的として各地区でボランティア養成講座や体験会を実施するなど、ボランティアネットワークの組織体制づくりを進めていることから、ボランティアセンターへの登録団体数を成果の指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			64	65	67	67
実績値	63	64	63			
担当課	福祉総務課					
指標の達成度の説明						
ボランティア団体の構成員の高齢化に伴い団体数は減少しているものの、ボランティア養成講座等の効果もあり新しい団体ができていますので、H30年度の団体数を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
地域見守り隊結成数	団体	ひとり暮らしの方、高齢者のみの世帯等「気になる人」が増えていく中で、同じ地域に住む住民が常日頃から支え合いの視点を持って、見守っていくことが求められている。問題に気がついて、支援者や関係機関等につなげ、地域でその課題を共有し、地域全体の力を高めていくことが必要であり、成果の指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			15	20	25	30
実績値	4	7	20			
担当課	福祉総務課					
指標の達成度の説明						
年間に5チームの結成を目指しているため、H30年度の団体数を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
ふれあいサロン開設数	箇所	ひとり暮らしや、閉じこもりがちな高齢者などと地域住民が自宅から歩いて行ける場所に集うふれあいサロンは、介護予防の場であり、多世代交流の場であり、見守りの場となっている。地域において「閉じこもり」をなくし、「地域」とのつながりをつくることは重要であるため、ふれあいサロンの年間開設数を指標とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			193	194	194	195
実績値	192	194	191			
担当課	福祉総務課					
指標の達成度の説明						
サロンへの積極的な訪問により、現状開設数を維持しつつ、世話人(ボランティア)に負担が過度にかからないよう考慮しつつ、じっくり推進していき、H30年度の年間開設数を上回ればよい。						

(18) 心身の健康づくりに対する支援

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
朝食を毎日食べる割合 (3歳児)	%	3歳児健診で朝食を摂取している幼児/3歳児健診受診者数 H25年度：受診者数 289人 / 対象者数 322人 H30年度(推計)：受診者数 291人 / 対象者数 310人				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			92.0	92.0	93.0	94.0
実績値	89.8	86.9	93.0			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
健康づくり活動への支援に取り組み、幼児期の正しい食生活を身につけるための指標として、3歳児の朝食摂取率の実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
定期的に歯科医院を受診する者の割合	%	さぬき市国保での特定健康診査受診者で定期的に歯科医院を受診している者(40歳～65歳)/さぬき市国保の特定健康診査受診者(40歳～65歳) H25年度 1,763人/3,396人 H30年度(推計)：3,328人/5,120人(対象者の目標値65%/H30年度特定健康診査対象者8,534人の受診者目標値60%)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			65.0	65.0	65.0	65.0
実績値	51.9	49.6	54.8			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
健康づくり活動への支援に取り組み、歯と口腔の健康づくりを推進し、生活の質の向上に向けた口腔機能の向上の達成のためには、H30年度における実績値が、目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
生活習慣病予防教室、健康相談参加者数	人	生活習慣病予防健康教育参加者数+健康相談参加者数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			5,000	5,000	5,000	5,000
実績値	3,816	4,174	3,701			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
生活習慣病予防対策の推進に取り組み、生活習慣の改善を図るための行動変容の指標として、H30年度における実績値が、目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
がん検診受診率	%	胃がん検診受診率+大腸がん検診受診率+肺がん検診受診率+乳がん検診受診率+子宮がん検診受診率÷5 がん検診対象者数=①-②+③-④ ※地域保健・健康増進事業報告に準じる。 ①40歳以上人口(子宮がん、乳がんについては、それぞれ20歳以上、40歳以上の女性) ②40歳以上の就業者 ③農林水産業従事者 ④要介護4・5の認定者				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			45.0	45.0	45.0	45.0
実績値	20.5	20.5	20.8			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
予防医学の充実に取り組み、がんの早期発見と正しい健康意識の普及啓発ができ、市民の健康の保持・増進を図るためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
予防接種(麻しん風しん2期)の接種率	%	麻しん風しん2期の接種者数/麻しん風しん2期の対象者数 H25年度 : 362人 / 378人 H30年度(推計) : 270人 / 275人				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			98.0	98.0	98.0	98.0
実績値	95.8	95.2	94.5			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
予防医学の充実に取り組み、感染症の予防に対する正しい知識の普及啓発と感染症の予防ができ、市民の健康の保持・増進を図るためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
睡眠による休養を十分取れていない者の割合	%	さぬき市国保での特定健康診査受診者で睡眠による休養を十分取れていない者(40歳~65歳) / さぬき市国保の特定健康診査受診者(40歳~65歳) H25年度 : 423人 / 1,177人 H30年度(推計) : 588人 / 2,390人				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			24.6	24.6	24.6	24.6
実績値	35.9	32.4	33.6			
担当課	国保・健康課					
指標の達成度の説明						
こころの健康づくりに取り組み、生活の質に係る重要な睡眠を十分とれるようにすることは、市民の心身の健康維持に重要な要素であるため、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

(19) 地域医療の充実

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
入院患者数		人	年間に入院した延べ患者数。実績値を基に目標値を算出している。 (目標値は、第2次さぬき市民病院改革プランの設定数値)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			49,830	49,830	49,830	49,830
実績値	46,454	48,709	48,212			
担当課	市民病院総務企画課					
指標の達成度の説明						
市民病院を核とした医療体制の充実のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
入院患者率(市民)		%	年間に入院した延べ市民患者数。実績値を基に目標値を算出している。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			69.8	69.8	69.8	69.8
実績値	71.0	70.1	70.2			
担当課	市民病院総務企画課					
指標の達成度の説明						
市民病院を核とした医療体制の充実のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
外来患者数		人	年間に外来通院した延べ患者数。実績値を基に目標値を算出している。 (目標値は、第2次さぬき市民病院改革プランの設定数値)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			124,660	124,660	124,660	124,660
実績値	123,243	127,894	129,407			
担当課	市民病院総務企画課					
指標の達成度の説明						
市民病院を核とした医療体制の充実のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
外来患者率(市民)		%	年間に外来通院した延べ市民患者率。実績値を基に目標値を算出している。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			67.9	67.9	67.9	67.9
実績値	67.6	67.8	69.1			
担当課	市民病院総務企画課					
指標の達成度の説明						
地域医療の連携推進のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
患者紹介率	%	年間の患者紹介率。実績値を基に目標値を算出している。 (目標値は、第2次さぬき市民病院改革プランの設定数値)				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			33.0	34.5	34.5	34.5
実績値	29.8	30.2	29.4			
担当課	市民病院総務企画課					
指標の達成度の説明						
地域医療の連携推進のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(20) 生活困窮者への支援

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
生活保護における月平均被保護者世帯数		世帯	生活保護は、憲法第 25 条の最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的としているため、数値的な指標の設定は難しいが、生活保護の被保護世帯数の推移をみることで、市民の生活の保障が得られているかどうかが分かると思われるので、これを指標とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			210	225	240	255
実績値	190	192	201			
担当課	福祉総務課					
指標の達成度の説明						
生活保護世帯数については、H26 年度の下半期開始時点で既に 190 世帯半ばに達しており、H26 年度内には一時的であっても 200 世帯を超える事は確実と思われるが、今後被保護者に対する自立助長への支援の推進や、生活困窮者自立支援法による取組によって、H30 年度には目標値を下回るよう努力する。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
生活困窮者の相談実施件数(延数)		人	生活に困窮している市民に対する相談状況が分かるようにするとともに、相談支援の充実を目指すため相談実施件数を指標とする。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			130	130	130	130
実績値	77	107	97			
担当課	福祉総務課					
指標の達成度の説明						
生活困窮者の相談件数は、生活保護申請に結び付いたものも含めて、年間 100 件弱程度で推移してきたが、H27 年 4 月から生活困窮者自立支援法の施行により、相談件数は増加することが予想される。今後実施する生活困窮者に対する取組の成果により、先の生活保護世帯数を維持した上で、H30 年度には目標値を現状として維持できるよう努力する。						

(21) 社会保障制度の適切な運用

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
国民健康保険事業の特定健康診査受診率		%	特定健康診査実施計画における特定健康診査等基本指針の参酌基準をもとに、さぬき市国民健康保険における目標値を設定する。 受診率＝当該年度の特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数(概ね 40歳以上の国民健康保険加入者) H25 年度: 受診者数(人) 3,467 / 対象者数(人) 9,371 H30 年度(推計): 受診者数(人) 5,547 / 対象者数(人) 8,534				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			50.0	55.0	60.0	65.0	
実績値	37.0	38.4	39.2				
担当課	国保・健康課						
指標の達成度の説明							
疾病の早期発見及び重症化予防を図るため、H30 年度における特定健診の受診率の実績値が目標値を上回ることを目指す。 特に内臓脂肪症候群の該当者・予備群の H20 年度対比 25%の減少を図る。 なお、第 2 期特定健康診査等実施計画(H25 年度～29 年度)の目標値は、第 1 期(H20 年度～24 年度)の実績を踏まえ、参酌基準が設定されている。							

(22) 学校教育の充実

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒数		人	<p>○児童生徒 1,000 人当たりの不登校児童生徒(学校基本調査において不登校とカウントされる児童生徒をいう。)の校種別人数</p> <p>○県教育基本計画における H27 年度の目標値は、小学校 2.2 人、中学校 28.0 人であり、本市においては H25 年度実績で、この目標値を小学校では下回り、中学校では上回っている。このため、H30 年度の目標値を、小学校では H25 年度実績を下回る 1.5 人、中学校では県の H27 年度目標値である 28.0 人とする。</p>			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			小 1.5 中 28.0	小 1.5 中 28.0	小 1.5 中 28.0	小 1.5 中 28.0
実績値	小 1.6 中 30.2	小 3.7 中 18.3	小 2.9 中 31.0			
担当課	学校教育課					
指標の達成度の説明						
<p>学校生活における学力不振や友人関係のつまずきなどが原因となる不登校の未然防止、早期発見、早期対応を行い、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるようになるためには、H30 年度における実績値が、目標値を下回ってほしい。</p>						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
学校給食における地場産物の使用率		%	<p>○学校給食に使用した総食品数に対する地場産物数の割合。地場産物とは、県内の産物であって、使用する食品の全量の半分以上が県内産のものとし、加工品の場合は、地場産物を使用して加工されたものとする。</p> <p>○県教育委員会の「かがわ食育アクションプラン(H23 年 10 月策定)」における H27 年度の目標値は 35%であるが、天候不順で野菜価格が高騰した場合、地場産物が使用できない場合があり、自然条件に大きく左右されることから、現状を踏まえ、現実的に達成可能な目標値として、H30 年度の目標値を 33%とする。</p>			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			31	32	32	33
実績値	31	34	31			
担当課	学校教育課					
指標の達成度の説明						
<p>学校給食における地産地消の推進のためには、H30 年度における実績値が、目標値を上回ってほしい。</p>						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
教育用コンピュータ1台 当たりの児童生徒数	人	国の第2次教育振興基本計画に掲げる目標(各学校に, ①コンピュータ教室40台, ②各普通教室1台, 特別教室6台, ③設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目標として算出)を目安とする。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			7.3	6.0	5.0	4.0
実績値	7.7	7.4	7.0			
担当課	教育総務課					
指標の達成度の説明						
時代の流れに対応した教育環境を整備するためには、H30年度における実績値が、目標値を下回っていればよい。						

(23) 家庭と地域の教育力の強化

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
家庭教育講座・講演会等参加者数		人	家庭教育講座・講演会等(実施例: 就学前学習会、はーと・ガーデン、夏休み家庭教育講座、講師派遣、子育てトーク、キママガーデン、講演会)に参加した者の延べ人数 保護者が安心して出会える場と、親としての役割について考える機会を増やし、参加者数の増加を目指す。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	969	1,228	1,039			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
家庭教育の推進・啓発のため、H30年度に実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
放課後子ども教室開催会場数		箇所	各放課後子ども教室を開催している会場数 子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行う教室であるため、参加する児童が増えるよう、会場を増やすことが望ましい。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			4	5	5	5
実績値	4	4	4			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
家庭教育の推進・啓発のため、H30年度に実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
放課後子ども教室参加児童数		人	各放課後子ども教室に参加した児童の延べ人数 子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行う教室であるため、参加する児童が増えることが望ましい。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			6,600	7,000	7,000	7,000
実績値	6,516	6,929	7,408			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実のため、H30年度に実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
学校支援ボランティア活動実績延べ人数		人	各学校支援ボランティア活動実績延べ人数 地域住民の参画による学校の教育活動を支援する学校支援ボランティア活動者の増加を目指す。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			10,000	11,000	11,000	11,000
実績値	10,424	10,470	24,271			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
家庭・地域・学校の連携による教育環境の充実のため、H30年度に実績値が目標値を上回ればよい。						

(24) 生涯学習・スポーツの推進

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
公民館利用者数	人	各公民館の年間利用者延べ人数 公民館の利用者数は、地域の生涯学習の発展、地域の交流の度合いを示すものである。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			80,000	80,000	80,000	80,000
実績値	79,124	71,689	74,349			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
生涯学習の推進のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
各種スポーツ大会及び教室開催数	回	市民を対象とした市体育協会による各種大会及び教室の開催数 開催数は市民スポーツ振興の成果を表しているといえる。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			35	35	35	35
実績値	34	38	38			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
生涯スポーツの推進のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
貸出点数(視聴覚資料等を含む)	点	年間に貸出した図書館資料の点数 購入した資料が利用者のニーズに合ったものとなっているか検討する指標にもなる。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			157,000	157,000	157,000	157,000
実績値	156,680	153,755	161,242			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
生涯学習の推進のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

(25) 歴史・文化の伝承

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
指定文化財件数	件	指定文化財となった件数と、文化財調査を計画的に実施できた場合の件数 市民が文化財に親しみ、その価値の理解を深めるためには、市内にある文化財調査を行い指定文化財件数の増加を目指す。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			105	106	107	108
実績値	103	103	103			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
文化財の保存と活用のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
企画展示開催数	回	歴史民俗資料館及び雨滝自然科学館での市教委主催企画展示開催数 郷土愛を育み、地域の自然等を学ぶ機会を多く設けるため、企画展示を開催する。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			2	3	3	3
実績値	2	1	2			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
地域の歴史と伝統文化の伝承等のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
芸術・文化活動等参加者数	人	21世紀館さんがわ(文化資料展示館)の入館者数 芸術・文化活動への参加の一環と考えられるため、入館者数を測定する。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			14,000	14,000	14,100	14,100
実績値	14,080	14,132	16,518			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
芸術に触れる機会の提供と文化活動の推進のため、H30年度における実績値が目標値を上回っていればよい。						

(26) 青少年の健全育成

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
補導活動回数		回	補導回数(通常補導、特別補導の総数) 積極的な「声かけ」を強く意識した補導活動、数値目標を取り入れた補導活動の継続と充実を図っていく。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			470	470	470	470
実績値	488	453	356			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
青少年健全育成活動の推進及び健全な社会環境づくりの達成のため、H30年度における実績値が目標値を下回っていればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
補導活動による声かけ等人数		人	声かけ等人数 積極的な「声かけ」を強く意識した補導活動、数値目標を取り入れた補導活動の継続と充実を図っていく。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,610	1,223	301			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
青少年健全育成活動の推進及び健全な社会環境づくりの達成のため、H30年度における実績値が目標値を下回っていればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
子どもSOS表示板設置所数		軒	子どもSOS設置総数 登下校時等の子どもの安全・安心な環境づくりの1つの指標である。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			600	600	600	600
実績値	578	564	564			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
青少年健全育成活動の推進及び健全な社会環境づくりの達成のための指標である。学校の統廃合等や少子化により在籍者数は変更するが、目標値を上回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
有害図書等の回収数	冊	有害図書等の回収総数 毎週水曜日を白ポスト回収日にして、有害図書等の回収に努める。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			2,600	2,600	2,600	2,600
実績値	2,406	3,374	2,249			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
青少年健全育成活動の推進及び健全な社会環境づくりの達成のため、H30年度における実績値が目標値を下回っていればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
少年相談件数	件	臨床心理士によるカウンセリング、来所や少年電話による少年相談件数 臨床心理士によるカウンセリングや来所や少年相談電話による少年相談の充実を図っていく。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			400	400	400	400
実績値	390	350	328			
担当課	生涯学習課					
指標の達成度の説明						
青少年健全育成活動の推進及び相談・支援活動の充実のため、H30年度における実績値が目標値を下回っていればよい。						

(27) 交流事業の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
剣淵町との交流参加児童数		人	さぬき市からの参加者数(5年生・6年生)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			45	45	45	45
実績値	44	45	38			
担当課	教育総務課					
指標の達成度の説明						
参加者数は剣淵町の参加児童数により決定されるため変動しやすいが、指標としては適切であると考えられる。目標値を上回るよう努力する。						

(28) 男女共同参画の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
附属機関等の女性委員の割合		%	測定方法: 附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針の対象及び地方自治法第 180 条の 5 を設置根拠とするものの女性委員の割合 (香川県への報告内容と同一とする。)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			30.0	31.0	32.2	32.6
実績値	26.8	28.9	28.1			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
女性の活躍状況の指針にもなるので、H30 年度の目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
DV(デートDV)防止啓発活動数		回	DV(デートDV)を啓発するための活動総数(講演会、セミナー、パネル展、キャンペーン、DV(デートDV)防止をテーマとした市民企画事業)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			3	4	4	5
実績値	3	3	4			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
DV被害が減少するためには、市民が知識を増やすことが必要であるため、啓発活動回数が H30 年度の目標値を上回ればよい						

(29) 人権教育の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
研修会等参加者数		人	教育委員会及びさぬき市人権・同和教育研究協議会が主催する研修会等の参加者数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			850	850	850	850	
実績値	825	871	875				
担当課	学校教育課						
指標の達成度の説明							
多様な人権課題に向けた研修会等を継続し開催することで、すべての人の人権が尊重されるまちづくりのため啓発活動と社会情勢に応じた人権教育を推進することにより、目標値を上回ればよい。							

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
講演会等参加企業数		社	さぬき市及び香川県主催の講演会への市内企業参加数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			60	80	80	80	
実績値	16	80	62				
担当課	人権推進課						
指標の達成度の説明							
就職の際の身元調査・女性の雇用等の差別をなくすためコンプライアンス(法令順守)義務を負う立場にある市内企業に対し講演会への参加を呼び掛けることにより、目標値を上回ればよい。							

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
人権問題等の相談件数		件	辛立文化センター・人権擁護委員・保護司・更生保護女性会への相談件数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)	
目標値			380	380	400	400	
実績値	358	245	257				
担当課	人権推進課						
指標の達成度の説明							
人権・同和教育問題市民意識調査の結果人権侵害を受けた市民の65%が「何もしないで我慢した」という結果が出ており、相談窓口利用促進の対策が急務となっている。今後は辛立文化センターにおける相談機能の充実を図るとともに、高松法務局や人権擁護委員の人権相談事業内容を周知徹底し効果的な啓発を推進することにより、目標値を上回ればよい。							

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
辛立文化センター利用者数		人	辛立文化センターを利用した者の延べ人数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			16,000	16,500	17,000	17,500
実績値	14,890	15,145	14,852			
担当課	人権推進課					
指標の達成度の説明						
辛立文化センターは、差別のない明るい社会を目指し、福祉の向上や人権啓発のための各種事業を推進する開かれたコミュニティセンターとしての総合的機能を発揮させ、市民の交流の拠点施設として、なお一層の利用促進に取り組み、目標値を上回ればよい。						

(30) 自然環境との共生

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
環境保全活動(地域清掃)参加者数	人	各種対象団体による環境保全活動(地域清掃)に参加した者の延べ人数 環境保全活動実施に伴うごみ袋支給申請書により、対象団体・参加人数を把握する。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			11,800	11,900	12,000	12,100
実績値	11,688	12,531	12,330			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
環境保全意識の高揚、環境美化活動の促進の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市内公共施設のエネルギー使用量	原油換算KI	エネルギー使用量(灯油、軽油、A重油、ガス、電気の使用量)の合計を原油使用量に換算し、省エネ状況を把握する 調査対象施設:本庁、支所、市立保育所、温泉施設、火葬場				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			1,200	1,200	1,200	1,200
実績値	1,296	1,246	1,250			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
市内公共施設のエネルギー使用量削減の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
狂犬病予防注射接種率	%	予防注射接種数/犬登録数 (H25年度実績:2,420頭/4,350頭、H30年度目標:2,400頭/4,000頭) 獣医師会以外で接種した場合、注射済票交付が有料のため市に届け出が無い場合があり、目標値を高く設定できない。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			60	60	60	60
実績値	56	56	59			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
狂犬病予防注射接種率向上の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(31) 資源循環型社会の構築

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市民1人当たりのごみの排出量(年間)	kg	収集業者が収集した、可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみの総量/市人口 (H25年度:16,578t/52,141人)				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			316	314	313	312
実績値	318	322	313			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
ごみ排出量減量化の達成のためには、H30年度における実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
ごみの資源化(リサイクル)率	%	資源化量÷ごみ総排出量。資源ごみの分別収集など資源化に向けた目標値を設定。 (H25年度実績:4,460t/16,578t、H30年度目標:4,550t/16,027t)				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			27.6	27.8	28.1	28.4
実績値	26.9	25.9	24.8			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
ごみ資源化率上昇の達成のためには、計画最終年度(平成30年度)における実績値が目標値を上回ればよい。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
収集量(し尿)	kl	委託業者より報告のあった収集量を把握。平成21年度から25年度までの収集量の減少率と今後の人口予測による減少率を合算して収集量の減少率を算出。 生活排水処理構想より、目標値を設定している。				
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			1,617	1,561	1,506	1,453
実績値	1,749	1,711	1,602			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
今後も収集を適正に行っていくが、下水道への接続を推進している状況であることから、H30年度の実績値が目標値を下回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
収集量(汚泥)		kl	委託業者より報告のあった収集量 浄化槽利用者人口が大幅に増えることは想定できないため、収集量については人口減少率に応じて減少する見込みとなる(生活排水処理構想より設定)。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			5,076	5,020	4,964	4,908
実績値	5,226	5,297	4,960			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
今後も収集を適正に行っていくが、浄化槽処理人口は大幅に増えないと考えられ、また、下水道への接続を推進していることから、H30年度の実績値が目標値を下回ればよい。						

(32) 上下水道の維持・整備

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
有収率(上水道)		%	年間有収水量÷年間給水量×100			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			89.0	89.0	89.0	90.0
実績値	88.9	90.1	89.3			
担当課	水道課					
指標の達成度の説明						
漏水等が想定され、有収率 100%は実現不可能な数字であるため、現状より少しでも有収率が上昇するよう努力する。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
汚水処理率(公共下水道普及率+集落排水普及率+合併処理浄化槽普及率)		%	【測定方法】毎年度末に集計し、香川県に対して報告する「さぬき市汚水処理普及状況」より転記 【考え方】現在処理区域内人口÷住民基本台帳による市内総人口×100(※項目ごと) 【H30年度の設定根拠】最終目標である100%を目指す			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			89.0	90.0	91.0	92.0
実績値	86.9	87.3	87.9			
担当課	下水道課					
指標の達成度の説明						
将来にわたる快適な生活環境の確保と公共用水域の水質の保全の達成のために、市内における生活排水処理の普及率がより100%に近づくよう努力する。						

(33) 財政の健全化

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
財政力指数		—	財政力指数は、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間平均値で、財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことを示す。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			0.410	0.415	0.415	0.420
実績値	0.403	0.404	0.414			
担当課	予算調整室					
指標の達成度の説明						
市税などの歳入を確保するとともに、企業誘致の推進などにより、自主財源の比率を高め、将来に向けて持続可能な財政基盤の強化を図っていく。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
経常収支比率		%	経常収支比率は、人件費や公債費などの経常的に支出される経費の一般財源が、市税などの経常的に収入される一般財源に占める割合で、一般的に80%を超えると財政の弾力性が失われつつあるとされる。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			87.0	86.5	86.5	86.0
実績値	87.1	87.6	89.1			
担当課	予算調整室					
指標の達成度の説明						
扶助費等の伸びにより、悪化が見込まれるが、経常経費の圧縮を図り、財政の弾力性を確保できるよう努めていく。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
実質公債費比率		%	実質公債費比率は、公債費(市債の償還額)に、事業会計への繰出金、一部事務組合への負担金及び債務負担行為などのうち公債費に準ずるものを加味した指標で、実質的な債務の返済の割合を示している。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			14.5	14.0	13.5	13.0
実績値	16.0	14.6	13.5			
担当課	予算調整室					
指標の達成度の説明						
市債の新規借入の抑制や繰上償還の実施などにより、実質収支比率は段階的に改善してきており、引き続き公債費の抑制を図っていく。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
将来負担比率	%	将来負担比率は、一般会計等が将来負担すべき負債の額から負債に充当可能な積立基金、特定財源、普通交付税で措置される負債額を控除して求めた指標で、将来的な債務の返済の割合を示している。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			0.0	0.0	0.0	0.0
実績値	9.9	0.0	0.0			
担当課	予算調整室					
指標の達成度の説明						
市債の新規借入の抑制や繰上償還の実施などにより、将来負担比率は段階的に改善してきており、引き続き将来負担額の抑制を図っていく。H27年度以降は、実質的な将来負担額がマイナスとなるため、数値としては0.0で表示している。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
市債残高	百万円	普通会計における地方債借入額の年度末残高				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			25,300	25,100	24,900	24,700
実績値	25,758	25,232	24,367			
担当課	予算調整室					
指標の達成度の説明						
合併特例措置の終了を控え、大型事業の集中により、一時的に市債残高が増嵩したため、新規借入額を元金償還額以下に抑制するとともに、繰上償還などの実施により、引き続き市債残高の減少に努めていく。						

(34) 歳入の確保

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市税の現年課税分の収納率		%	市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税及び国民健康保険税の現年課税分の 収納額÷調定額×100 H25年度の実績値を基準として、収納率の向上を目指す。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			97.7	97.7	97.8	97.8
実績値	97.6	97.9	98.1			
担当課	税務課					
指標の達成度の説明						
滞納の未然防止達成のためには、H30年度における実績値が、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市税の滞納繰越分の収納率		%	市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税及び国民健康保険税の滞納繰越分の 収納額÷調定額×100 H25年度の実績値を基準として、収納率の向上を目指す。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30
目標値			22.8	22.9	23.0	23.1
実績値	22.7	25.2	27.3			
担当課	税務課					
指標の達成度の説明						
滞納の早期解消のためには、H30年度における実績値が、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
広告媒体の活用による財源確保(封筒)		万円	広告料収入の確認			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			23	25	30	30
実績値	22	21	25			
担当課	総務課					
指標の達成度の説明						
積極的に広告募集の周知を行い、目標値を上回ればよい。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
まちづくり寄附金額		万円	寄附採納した金額によるものとし、まちづくり寄附のあり方の見直しを行うこととしているが、寄附金額が極端に増加することは期待できないと考えている。			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			300	350	400	500
実績値	270	409	1,391			
担当課	秘書広報課					
指標の達成度の説明						
まちづくり寄附のあり方の見直しを行うことにより、H30年度における実績値が目標値を上回るようにする。						

(35) 行政改革の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
総合計画の指標達成度		%	総合計画前期基本計画に定める目標指標達成度 (現況:達成見込のある指標 38/全指標 69)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			60.0	70.0	70.0	75.0
実績値	—	55.1	49.6			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
第1次総合計画後期基本計画の成果指標達成見込値は55.1%であり、第2次総合計画前期基本計画では少なくともこれを上回る達成度を実現できるよう取組を進めて行く必要があるため、目標値を上回れば良いものとする。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
外部研修参加率		%	参加率については、職員数(市民病院を除く行政職)に占める外部研修への参加者数によるものとします。目標値については、これまでの実績を踏まえたうえで、研修参加者の微増を見込んでいる。(H25年度:52人/417人)			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			15.0	16.0	17.0	18.0
実績値	12.5	14.6	15.1			
担当課	秘書広報課					
指標の達成度の説明						
種々の外部研修の機会を提供するとともに、積極的な参加を促すことにより、H30年度における実績値が目標値を上回るようにする。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市民1人当たりの電子計算費事業コスト		千円	市民1人当たりのコスト(本庁・支所分の当該年度事業費/市人口) H25年度:122,211千円/52,374人			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			4.5	4.5	4.0	4.0
実績値	2.3	3.23	4.75			
担当課	総務課					
指標の達成度の説明						
電子計算費をさぬき市民1人当たりに割り戻して指標化したものである。当然、数値は低ければ低いほど良いわけだが、制度改正に伴う大規模な電算システムの改修や、機器老朽化に伴う更新費用等が発生すると、その年度での市民1人当たりコストは増加することになる。						

(36) 公共施設マネジメントの推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
公共施設再生基本計画 達成施設数(廃止のみ)		施設	公共施設再生基本計画において「廃止」の方向性が示される施設のうち、実施された施設数			
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			—	—	—	5
実績値	—	—	0			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
<p>今後の公共施設の更新費用を抑制し、持続可能な財政運営に寄与するとともに、身の丈にあった公共施設を有効に活用していくためには、各公共施設の今後の方向性を明らかにし、廃止していく施設を明確にし、達成を図っていく必要があるため、目標設定数(H30年度までに累計5施設)以上の実現を図り、これを上回る必要がある。</p>						

(37) 市民に開かれた市民本位・市民主体の行政の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
ホームページアクセス件数		件	件数の取得についてはカウント専用サイトによるものとし、目標値については本市に対する関心度が向上していくことを前提としている。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			300,250	300,500	300,750	301,000
実績値	299,165	284,919	257,398			
担当課	秘書広報課					
指標の達成度の説明						
市民と行政との情報や意識の共有化を図るとともに、市外に向けての情報発信に努めることによって、H30年度における実績値が目標値を上回るようにする。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
公文書開示請求件数		件	全実施機関の公文書開示請求件数の合計とする。さぬき市情報公開条例に基づく公文書開示請求は、何人にも情報公開を求める権利を保障し、市民に対する説明責任や市民参加による開かれた行政を推進するものであるため、指標に相当であるとする。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			35	40	40	40
実績値	34	25	29			
担当課	総務課					
指標の達成度の説明						
窓口の一元化により、情報公開制度における取組をわかりやすく説明し適正に対応することで、開示請求件数が目標値を上回るよう努める。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
市政懇談会の参加率		%	参加者数/参加対象者数			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			50	50	55	60
実績値	57	43	38			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
開催方法、開催時間、テーマ等の検討を行い、より多くの市民が参加しやすい市政懇談会とし、H30年度における実績値が、目標値を上回るようにする。						

(38) 地域コミュニティの活性化

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
自治会加入率	%	毎年4月1日現在の自治会加入世帯数/市内総世帯数 近年、世帯分離に基づく新たな世帯の自治会未加入等が要因となり加入率は減少傾向にあるが、共生のまちづくりのためにも加入率の上昇を目指す。				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			80.00	80.00	80.00	80.00
実績値	79.54	78.72	77.83			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
コミュニティ意識の高揚を推進するため、市連合自治会支会を通じて自治会加入促進を図り、組織の拡充することで、H30年度における実績値が、目標値を上回るよう努める。						

指標名	単位	測定(取得)方法及び設定の考え方				
コミュニティ施設(コミュニティセンター及び公民館)利用者数	人	コミュニティセンター及び公民館を使用した者の延べ人数				
	H25 年度(現況)	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(前期目標)
目標値			82,500	82,500	82,500	82,500
実績値	81,588	74,194	76,504			
担当課	生活環境課					
指標の達成度の説明						
地域コミュニティ組織の活動拠点としてもらい、利用しやすい環境を整備することで、H30年度における実績値が目標値を上回ればよい。						

(39) 広域的行政の推進

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
一部事務組合による事業実施数		事業	広域的行政の推進は、市単独でなく他団体と共同で実施する一部事務組合において実現していくものであり、実施事業を増やしていくことが必要であるため。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			17	18	18	18
実績値	17	17	17			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
実施事業を増やしていくことが必要であるため、目標値を上回るよう努める。						

指標名		単位	測定(取得)方法及び設定の考え方			
定住自立圏取組事業数		事業	広域的行政の推進は、市単独でなく他団体と連携して取り組むことで実現していくものであり、実施事業を増やしていくことが必要であるため。			
	H25年度(現況)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度(前期目標)
目標値			26	26	27	27
実績値	25	25	25			
担当課	政策課					
指標の達成度の説明						
実施事業を増やしていくことが必要であるため、目標値を上回るよう努める。						

第2次さぬき市総合計画前期基本計画
基本施策別目標指標進捗状況調査結果一覧
(調査実施年度：平成28年度)

発行・編集：さぬき市総務部政策課

電話：087-894-1112

FAX：087-894-4440

E-mail: seisaku@city.sanuki.lg.jp